特殊電池およびその他事業

中期事業方針（第五次中期経営計画）

事業方針

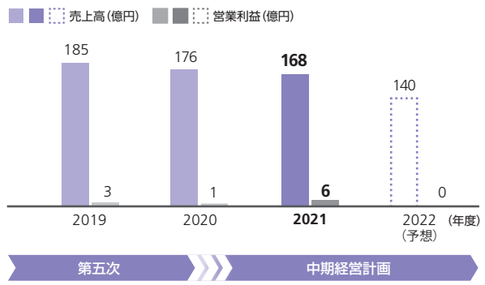
最高水準の性能と品質の電池で新しい社会インフラ構築に貢献する

戦略および重要課題

- 潜水艦用リチウムイオン電池の安定供給と品質向上を図る
- 信頼性と耐久性を向上させ、航空機・衛星用リチウムイオン電池を拡販する

「深海」から「宇宙」までの極限環境で採用 ▶ 技術力のさらなる向上を図り、過酷な条件下でも電力を供給し続ける蓄電池を提供

業績の推移と計画



※ 第五次中期経営計画期間は2019年度から2021年度までとしていましたが、新型コロナ禍の影響を受け2020年度は単年度計画として除外し、最終年度を2022年度とした4カ年計画に変更しました。
※ 実績に全社費用（労務費、研究開発費など）が含まれるため、セグメント損失が発生することがあります。

2021年度

<概況>

- 潜水艦用リチウムイオン電池
  工事進行基準の関係で売上高が減少
- 航空機用リチウムイオン電池
  エアライン（補修）向けが堅調に推移したことにより販売数量が増加

2022年度

<取り組み>

- 潜水艦用リチウムイオン電池の安定供給
- 衛星・海洋用リチウムイオン電池の受注増加
- 増産に向けた生産体制の構築
- 月面探査車用電池の開発
- 月周回有人拠点（Gateway）向けリチウムイオン電池の受注

衛星用などリチウムイオン電池の受注増と増産体制の構築

2021年度は、航空機用リチウムイオン電池などの既存事業が堅調に推移したことや、経費の減少などにより前年度比で増益、営業利益率も改善しました。

2022年度は、引き続き潜水艦用リチウムイオン電池を安定供給するとともに、衛星用リチウムイオン電池の増産に向けた生産体制の構築も進めます。

TOPICS

1 イプシロンロケット5号機にロケット共通リチウムイオン電池が搭載

（株）ジーエス・ユアサ テクノロジー製のロケット共通リチウムイオン電池が、2021年11月に打ち上げられたイプシロンロケット5号機に搭載されました。この製品は（株）IHIエアロスペースとの契約に基づいて開発したもので、2013年に打ち上げられたイプシロンロケット初号機から継続して採用されています。イプシロンロケット5号機の1～3段目に搭載され、制御系機器などに電力を供給します。また同ロケットには、駆動用熱電池も搭載されており、飛翔中のイプシロンロケットの姿勢制御系機器に必要な電力を供給する働きをしています。

イプシロンロケット5号機
飛翔イメージ（提供：JAXA）

2 JAXA「宇宙航空分野における安全・ミッション保証功労賞」を受賞

ジーエス・ユアサ テクノロジーは、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）より「宇宙航空分野における安全・ミッション保証功労賞」を受賞しました。この賞は、JAXAのさまざまなミッションの遂行にあたって顕著な功績や貢献をした組織または個人に授与されるもので、今回の受賞では人工衛星や「こうのとり（HTV）」に搭載される宇宙用リチウムイオン電池が宇宙機の機能・性能向上やミッション成功に貢献したことを評価されました。

受賞記念盾

3 準天頂衛星初号機後継機に宇宙用リチウムイオン電池が搭載

ジーエス・ユアサ テクノロジー製の宇宙用リチウムイオン電池が、内閣府の準天頂衛星システム「みちびき」（準天頂衛星初号機）～「みちびき4号機」に続いて、2021年10月に打ち上げられた初号機後継機に採用されています。準天頂衛星初号機は、4号機までの4機体制で衛星測位サービスを提供しており、初号機後継機はこの役割を引き継ぐとともに、配信する測位信号の精度向上が期待されています。

宇宙用リチウムイオン電池（セル）